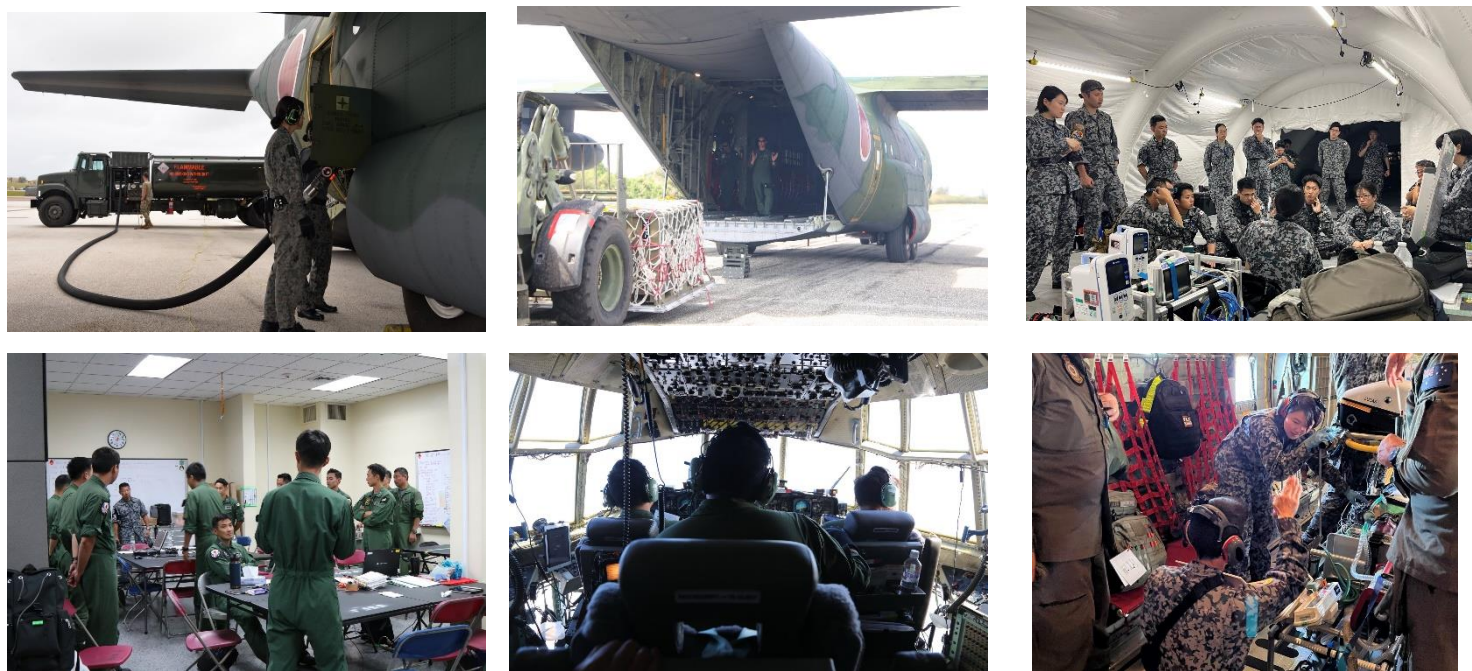


### 日米豪共同訓練「コープ・ノース2024」



第1輸送航空隊は、1月19（金）から3月6日（水）の間、米国グアム島アンダーセン空軍基地等で行われた、日米豪共同訓練「コープノース24」に参加しました。輸送機訓練隊の主な訓練内容は「戦術空輸訓練」「物料投下訓練」「航空医療搬送訓練」であり、小牧基地からはC-130H×1機が訓練隊とともに参加し、現地に実践的訓練環境の下、3か国による共同訓練を実施しました。

訓練期間中は、日・米・豪と共に指揮所活動を実施し、人員及び車両等を、アンダーセン空軍基地からグアム国際空港をはじめとするグアム周辺の国際空港へ戦術空輸を行うとともに、一般的な管制等の空港業務の支援がないテナン島への物料投下訓練を通して、粘り強く戦闘を継続するための運用に資する能力を向上しました。

また、航空医療搬送訓練では、負傷者発生時の想定のもと、エンジンが回った状態で患者隊員を機内へ搬送し、患者空輸を行うことで、患者搬送に関する練度の維持・向上を実施しました。これらの訓練は、地震等の災害発生時等におきましても能力を発揮できるものです。本訓練を通じ、部隊の戦術技量を向上させるとともに、日米共同対処能力及び3か国の相互運用性の向上を図ることができました。

### 令和5年度航空自衛隊持続大会



2月14日（水）府中基地で行われた令和5年度航空自衛隊持続走大会（駅伝の部）において、第1輸送航空隊は見事第3位に入賞しました。今年の持続走大会は、航空幕僚長が開会式の訓示で述べたように、「従来のトップオブトップ」＝「速い者の戦い」の競技のやり方ではなく、部隊所属自衛官の持続走記録平均点が高い部隊が各方面隊等の予選を通過し、上位4個部隊及び運営部隊1個部隊の計5個部隊で駅伝大会が行われました。一部の者が速いだけでは大会には出場できない設定で、第1輸送航空隊の団結力が試された大会とも言えるものでした。大会当日は、天候に恵まれ選手一人一人が第1輸送航空隊の代表として自覚し、自己ベストを更新、ゴールまで襷を繋ぐ等、見る者に感動を与える勇姿を披露しました。区間賞には、通信隊足立2曹が選ばれ9分02秒と大会会場を震撼させました。大会参加及び訓練参加に対しご協力いただいた各部隊の方々に、御礼申し上げます。ありがとうございました。

### 令和5年度航空保安管制競技会



2月20日（水）から2月22日（金）の間、小牧基地において航空保安管制競技会が開催されました。本競技会は、年度練成訓練成果の発揮を目的に、各部隊の代表者が学科と実技において知識と技量を競い合う、昭和から続く歴史ある大会であり、本年度はレーダー管制業務を競技しました。小牧管制隊では、シミュレーターを活用し、約1か月の特別訓練期間を設け、隊一丸となって本競技会に臨みました。結果は、実技においてあと一歩及ばず入賞を逃してしまいましたが、学科の部において、緒方3尉が全国トップの成績を収めました。以下の選手のコментарです。

緒方3尉「残念ながら実技で入賞できなかったのが、次は入賞を目指します。」

山本曹長「久しぶりの出場で、色々フレッシュできました。」

江口曹長「一度は優勝したいので、次回チャンスがあれば頑張ります。」

三宅2曹「競技会で得た教訓を、後輩たちに伝えていきたいと思えます。」

小牧管制隊は、自衛隊の任務、民間航空機の定時制、小型航空機の要務等、複雑多岐にわたる名古屋飛行場の飛行安全を確保するため、知識と技量の向上に努めてまいります。